

SanRex

サイリスタ式 電力調整ユニット

CALPOTTE

UF series

DeviceNet 通信ユニット

UF-DN

取扱説明書

目 次

まえがき	2
1. ご使用になる前に	3
1.1 製品の確認	3
1.2 準備していただくもの	3
1.3 UF-DNの取付け方法	4
2. UF-DNの接続方法について	5
3. UFユニットS3の設定方法について	6
4. UF-DNの設定方法について	7
4.1 ノードアドレス設定	7
4.2 ボーレート設定	7
5. UF-DNにて信号を設定するには	8
5.1 UF-DNからの設定方法	8
6. パソコンとUF-DNとの通信方法について	9

添付資料

DeviceNet通信ユニット UF-DN ユーザーズマニュアル

まえがき

このたびは、”サイリスタ式電力調整ユニット **UF series** 用 DeviceNet 通信ユニット UF-DN”をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用に際しましては、この取扱説明書をよくお読み頂き、ご要望の機能を十分に満足するようご活用くださいますようお願い申し上げます。

なお後々のため、この取扱説明書は大切に保存してください。

以下の説明に於きまして、DeviceNet 通信ユニットは“UF-DN”と略させていただきます。

1. ご使用になる前に

1.1 製品の確認

ご注文通りの製品が入っていることを確認してください。

- UF-DN
- UF-DN取付用ビス(1個/1台)

1.2 準備していただくもの

(1) DeviceNet用ケーブル

① ケーブル

DeviceNetでは、仕様で定められた太ケーブルまたは細ケーブルのどちらかを使用して幹線を構築します。

また、両方のケーブルを組み合わせると同一ネットワーク上で使用することもできます。

どちらのタイプのケーブルを使用するかは、ネットワークの幹線長およびデータ転送速度で決定します。

以下に各ケーブルの概要を示します。

(ア) 太ケーブル (THICKケーブル)

太ケーブルは、共通軸でツイストされた2つのシールド付きペアと、中央部に存在する編組シールドで覆われたドレインワイヤから構成されており、通常、太ケーブルは、長さが必要となる場合に幹線として使用されます。

(イ) 細ケーブル (THINケーブル)

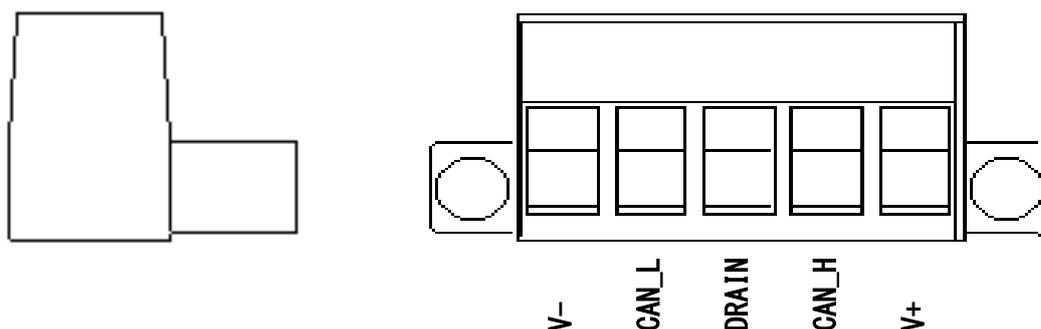
細ケーブルは、太ケーブルよりも細く、柔軟性に富んでおり、通常は、支線として使用されますが、短距離の幹線として使用することも可能です。

② 接続コネクタ

プラグ

MSTB 2.5 / 5-STF-5.08 AU
PHOENIX CONTACT製

③ ケーブルの配線方法



(2) 終端抵抗

DeviceNetでは、終端抵抗を幹線の両端に取付ける必要があります。

① 終端抵抗

抵抗 $1 / 4 W \quad 121 \Omega \quad \pm 1 \%$ の金属皮膜

② 取付上の注意事項

(ア) 終端抵抗は絶対にノードに取付けないでください。

ノードに取付けるとネットワークの終端に問題が発生することがあり(インピーダンスが高くなりすぎるか低くなりすぎる)、障害の原因となることがあります。

(イ) 終端抵抗は支線の端に取付けないでください。

1.3 UF-DNの取付け方法

- (1) UFユニット側面の通信用ハーネス接続部のカバーを、ニッパー等で切り落とします。(図1.3(1))
- (2) UF-DNに接続されているハーネスを、UFユニットに接続します。(図1.3(2))
- (3) UF-DNから出ている2箇所のカギを、UFユニットに接続します。(図1.3(3))
- (4) UF-DNとUFユニットとを付属しているUF-DN取付用ビスで固定します。(図1.3(4))



図 1.3 (1)



図 1.3 (2)

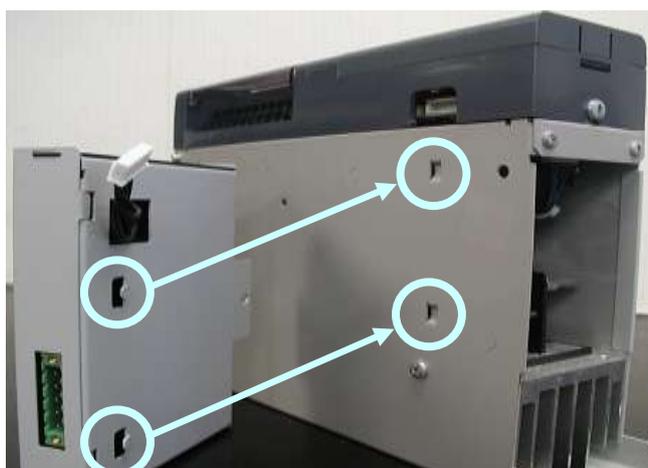
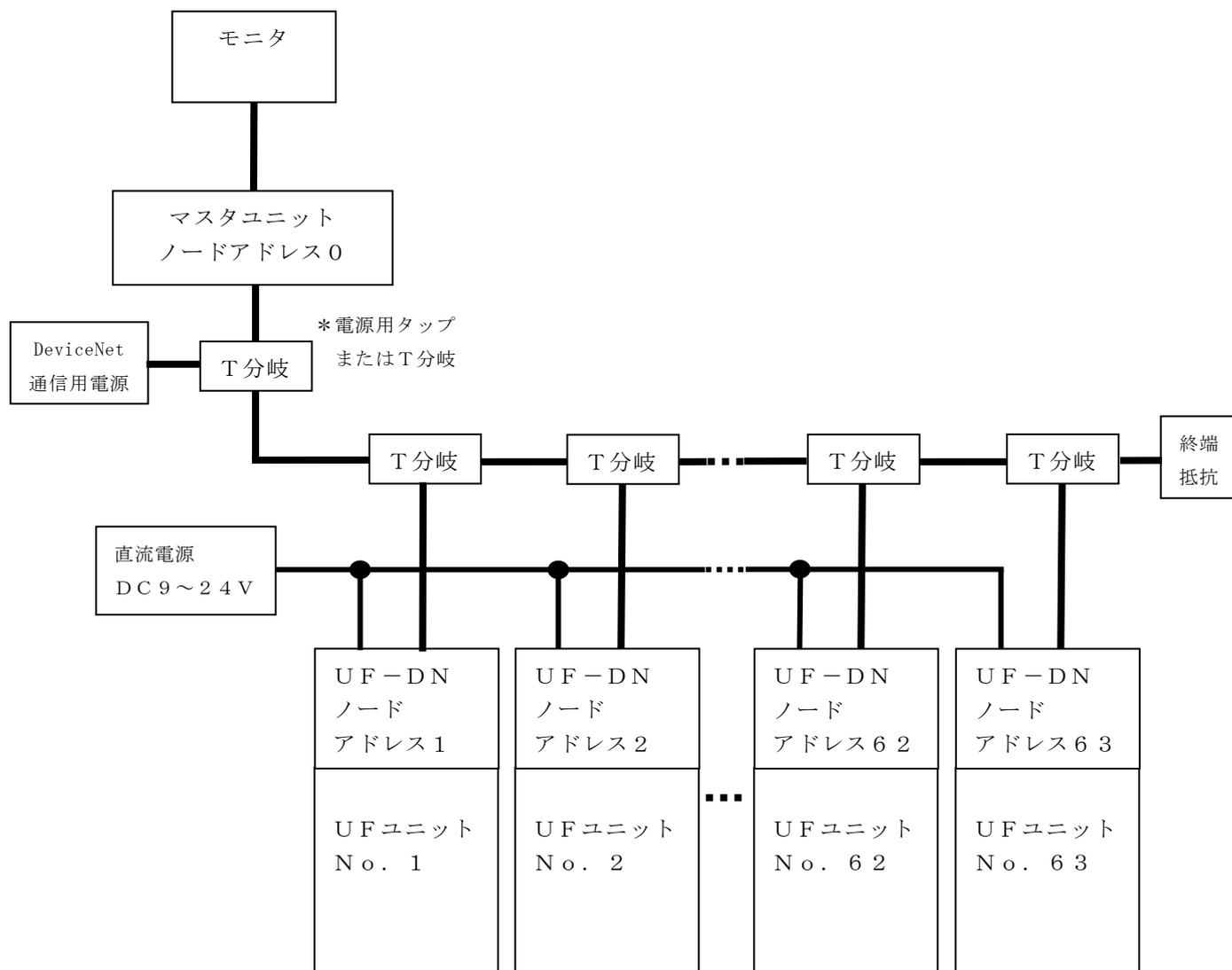


図 1.3 (3)



図 1.3 (4)

2. UF-DNの接続方法について



UFユニットは、最大63台接続可能です。
ケーブルの終端には必ず終端抵抗を取付けてください。

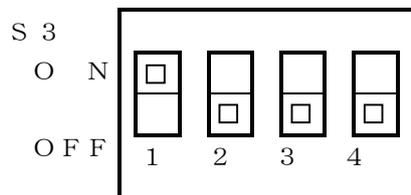
UF-DNに直流電源(DC 9~24V)を接続してください。
電流容量は、UF-DN 1台当たり0.2A必要です。

3. UFユニットS3の設定方法について

UFユニットの正面のカバーをはずすと、S3があります。UF-DNを使用する場合、S3のユニットNo.の設定を“1”に必要があります。

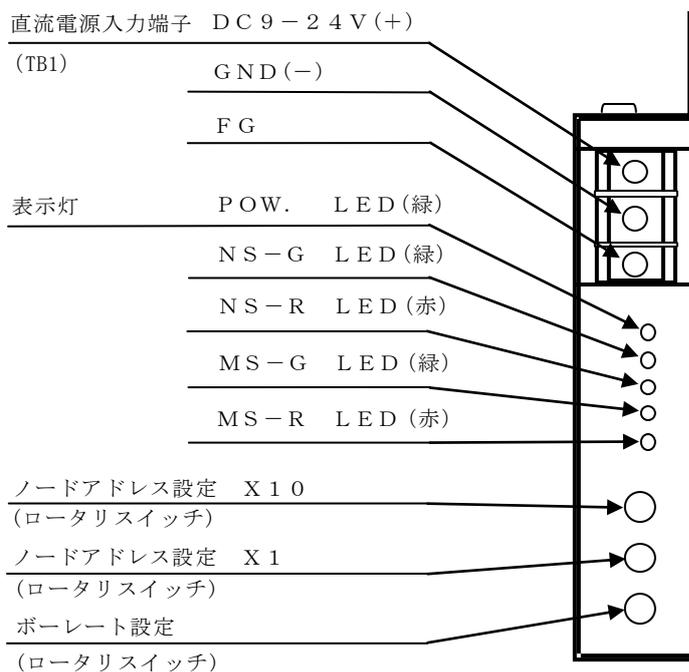
S3の初期設定は、“0”に設定されています。

以下のようにUFユニットS3のユニットNo.の設定を“No.1”に設定してください。



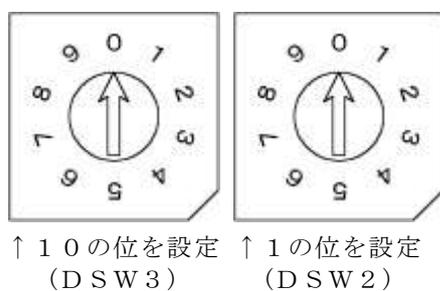
	S 3 - 1	S 3 - 2	S 3 - 3	S 3 - 4
No. 1	ON	OFF	OFF	OFF

4. UF-DNの設定方法について



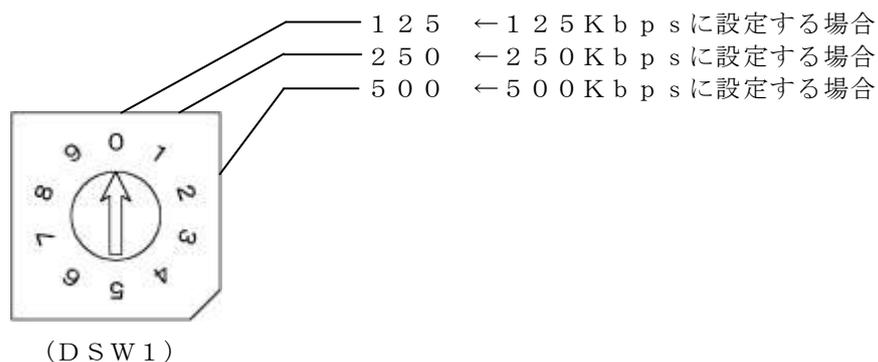
4.1 ノードアドレス設定

ノードアドレス設定はネットワーク上で使用するノードNO. を設定するもので、0～63の範囲で設定可能です。UF-DNではノードアドレスを1つ使用します。



4.2 ボーレート設定

ボーレート設定は、ネットワーク上での伝送速度を設定するもので125Kbps、250Kbps、500Kbpsの3種類の設定変更が可能です。



5. UF-DNにて信号を設定するには

UF-DNにて信号を設定するには、表示パネルを操作して優先設定を“2”にする必要があります。詳細はUF表示パネル活用マニュアルの8項を参照してください。

5.1 UF-DNからの設定方法

例. L(下点(下限)信号)をUF-DNにて設定が変更できるようにする。

- (1) **FUNC**キーを押しながら**MODE**キーを
数回押して、表示パネルで『INPUT』を
表示させます。(図5.1(1))
- (2) **SEL**キーを2回押して、4桁表示の左端の
表示を『L』にします。(図5.1(1))
- (3) **FUNC**キーを押しながら**SEL**キーを
1回押し左端からの表示を『LS』にします。
(図5.1(2))
- (4) 表示パネルの▲を数回押して『2』にします。
(図5.1(2))
- (5) 数字が点滅するので、**ENTER**キーを1回押して
点灯させます。(図5.1(2))

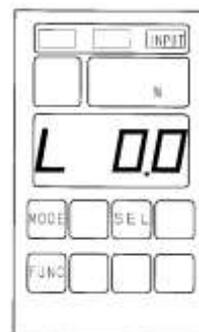


図5.1(1)

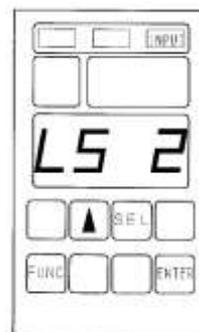


図5.1(2)

例のように操作して優先設定を変更することにより、UF-DNから設定が変更できます。表1は、表示パネルで優先設定を変更することで、UF-DNから設定が変更できます。

表示	機能
P	制御信号
H	手動(上限)信号
L	下点(下限)信号
F	勾配信号
E	ソフトスタート時間
C	電流制限量
U	ヒータ断線量
d	ディレー時間
—	周期時間

表1

6. パソコンとUF-DNとの通信方法について

パソコンにてUF-DNと通信するには、添付資料を参考にして、プログラムの作成をしてください。

添付資料

DeviceNet通信ユニット UF-DN ユーザーズマニュアル

MEMO

□お問い合わせ



株式会社 三社電機製作所

営業直通電話	営業本部	(06) 6325-0500
	東京支店	(03) 3834-1700
	九州営業所	(092) 431-7586

電力調整器担当までご連絡下さい。

ホームページ：<http://www.sansha.co.jp/>

本仕様は製品の改良により予告なく変更することがあります。